

葛飾区

# 緑化推進協力員だより

第48号



2023年11月 葛飾区緑化推進協力員会

協力 葛飾区環境部環境課緑と花のまち推進係

## 【表 紙】

令和5年度前期、緑化推進協力員会では活発な内部勉強会が行われました。4月には「ブルーベリー剪定教室」、7月には「シソジュースの作り方・ブルーベリーの摘み取り・ブルーベリージャム作り」が行われ、和気あいあいとブロックを越えた交流が行われました。写真はその時の様子です。

葛飾区緑化推進協力員は、葛飾区緑の保護と育成に関する条例に基づき葛飾区長から委嘱された、緑の保護と育成に関する区の施策に協力し、緑に関する知識と熱意を持って自主的な地域活動を積極的に推進していく区民のボランティアです。

緑化推進協力員会全体での活動、区内を4つのブロックに分け、それぞれの地域で行うブロック活動、地域における個人での活動など、緑化に関する様々な普及啓発や活動を行っています。

この「緑化推進協力員だより」では、緑化推進協力員の日頃の活動や、緑化について感じたこと・考えたことなどをまとめたもので、年に2回発行しています。

# 目 次

	題 名	ブロック	氏 名 ペンネーム	ページ
1	活動記録（後期）	第1ブロック		1
2		第2ブロック		3
3		第3ブロック		4
4		第4ブロック		5
5	緑を育てることは人を育てることなり！	第1ブロック	佐々木 定治	6
6	水元公園の花いろいろ	第1ブロック	引地 詔子	8
7	ヤッコソウ	第2ブロック	五十嵐 美鈴	9
8	初夏のハーブ	第2ブロック	磯貝 五十鈴	11
9	「地球の今は？」	第2ブロック	近藤 文子	13
10	ど根性のタチアオイに拍手	第2ブロック	鈴木 伸	17
11	かってにいちょうの丘!!	第2ブロック	半田 建二	18
12	花盗人	第3ブロック	下井 守	20
13	感謝の花園	第3ブロック	まあ~ちゃん (ペンネーム)	22
14	編集後記		編 集 委 員	24



第1ブロック活動記録（令和5年4月1日から令和5年9月30日まで）

月日	会場	会議名・事業名	内容
4月6日	清水農園	協力員向け勉強会	ブルーベリー剪定と懇親会
10日	エコライフプラザ	花いっぱいレポーター会	今年度の活動について
27日	葛飾区役所	生物多様性推進協議会	情報交換会
27日	金町地区センター	第一ブロック会議	前期活動に関して
5月1日	エコライフプラザ	花いっぱいのまちづくり推進協議会	定期会議
11日	葛飾区役所	いこいガーデン花壇活動	冬花処分
16日	エコライフプラザ	花いっぱいレポーター会	花壇コンクールについて
18日	葛飾区役所	いこいガーデン花壇活動	春夏花苗植え付け
26日	金町地区センター	緑のカーテン講習会	ゴーヤーカーテン講習会
6月1日	金町駅南口花壇	花苗植え替え準備	花の撤去と土の準備
3日	新柴又駅前	花壇活動	花苗植え替え
5日	区内12か所花壇視察	花壇コンクール調査会	花レポ花壇調査会
5日	金町駅南口花壇	花苗植え付け	ジニア、ペンタス等
10日	フロリズ花壇	花壇活動	花苗植え替え
11日	テクノプラザかつしか	環境・緑化フェア	2023年度環境・緑化フェア
12日	エコライフプラザ	花いっぱいのまちづくり推進協議会	定期会議
12日	区内12か所花壇視察	花壇コンクール調査会	花レポ花壇調査会
13日	水元2丁目周辺	調査研修	自然観察調査等
24日	区内20か所花壇	花壇コンクール審査会	審査会
7月14日	清水農園	協力員向け勉強会	紫蘇ジュース、ジャム作成
24日	エコライフプラザ	花いっぱいのまちづくり推進協議会	定期会議
8月10日	ウィメンズパル	花壇コンクール表彰式	表彰式
15日	エコライフプラザ	花いっぱいレポーター会	花壇コンクールの結果情報

9月5日	金町中央図書館	第一ブロック後期会議	後期の活動記録
9日	わかば公園	若林記念樹管理	草取り
15日	清水農園	ガーデンプロジェクト 12	後期の花壇デザイン

随時 新柴又駅前花壇                      水やり 草取り 花柄摘み  
       フロリス花壇                         水やり 草取り 花柄摘み  
       水元中央公園                         水やり 草取り 花柄摘み  
       私立保育園の緑化整備  
       区内小学校12校の環境学習出前授業  
       区立中学校の緑化に関する授業  
       区花いっぱいレポーターとしての調査報告  
       緑化推進協力員だより48号への寄稿

第2ブロック活動記録（令和5年4月1日から令和5年9月30日まで）

月日	会場	会議名・事業名	内容
4月 7日	白鳥四丁目公園花壇	花植付	花かんざし、ノースポール他植付 3名
14日	曳舟川親水公園花壇	花筏の会活動 チューリップ球 根片付	11月に植え付けたチューリップの片付け 7名
26日	白鳥集い交流館	ブロック会議	令和5年度前期活動計画 等
5月 17日	曳舟川親水公園花壇	花筏の会活動	除草 3名
26日	亀有地区センター	緑のカーテン講習会	ゴーヤーの栽培方法実演
6日	曳舟川親水公園花壇	花筏の会活動 花植付	コリウス・ペチュニア・ヒマワリ 5名
11日	テクノプラザ	環境・緑化フェア	緑化推進協力員会ブース・苗木配布 従事
22日	曳舟川親水公園花壇	花筏の会活動 花壇整備	雑草がひどく整備 2名
27日	曳舟川親水公園花壇	花筏の会活動 シート張り	花壇円周にシート張り 2名
7月 4日	白鳥四丁目公園花壇	花植付	ペチュニア・ジニア・ヒマワリ
7月 5日	区役所屋上緑化見本園	園芸教室	土の基本とぼかし肥作り 参加者23名
8日	曳舟川親水公園花壇	花筏の会活動 花植付	コリウス・ベゴニア・ハウセンカ 8名
7月14日～ 8月25日	曳舟川親水公園花壇	花筏の会活動 水やり・除草	毎朝5名～6名交替制
9月 5日	白鳥集い交流館	ブロック会議	令和5年度後期活動計画 等

※白鳥四丁目公園花壇 毎週月曜日、手入れ・清掃（半田協力員）  
毎月2回 除草他（近藤ブロック長）

### 第3ブロック活動記録（令和5年4月1日から令和5年9月30日まで）

月日	会場	会議名・事業名	内容
4月 8日	渋江公園花壇	雑草とり、花柄つみ、水撒	参加者5名
26日	渋江公園花壇	雑草とり、花柄つみ、水撒	参加者2名
26日	渋江集い交流館	ブロック会議	参加者10名参加
5月13日	渋江公園花壇	雑草とり、花柄つみ、水撒	参加者9名
24日	渋江公園花壇		参加者3名
27日	青戸地区センター	緑のカーテン講習会	参加者16名；講師＋補助員3名
3日	渋江公園花壇	整地	参加者8名
10日	渋江公園花壇	花苗植えつけ	参加者11名
11日	テクノプラザ	環境・緑化フェア	参加者5名
28日	渋江公園花壇	雑草とり、花柄つみ、水撒	参加者2名
7月 8日	渋江公園花壇	雑草とり、花柄つみ、水撒	参加者6名
26日	渋江公園花壇	雑草とり、花柄つみ、水撒	参加者5名
8月12日	渋江公園花壇	雑草とり、花柄つみ、水撒	参加者4名
23日	渋江公園花壇	雑草とり、花柄つみ、水撒	参加者6名
9月 4日	渋江集い交流館	ブロック会議	参加者11名参加
9日	渋江公園花壇	雑草とり、花柄つみ	参加者4名
27日	渋江公園花壇	雑草とり、花柄つみ	参加者7名

※第2土曜日と第4水曜日が渋江公園花壇での定期的な作業になっている。その間も、天候に応じて適宜水撒きなどを行っている。今年は特に～8月の暑さと湯水でほぼ毎日水撒きが必要だった。

※今期植付けた花苗は、ペチュニア（おゆきちゃん、さくらさくら、桃色吐息）、トレニア、アンゲロニア、センニチコウ、サンビリーバブル、ジニア等。今年もこぼれ種から育ったクレメオが立派だった。

※屋上緑化見本園花壇の維持管理は、3班に分かれ、各班月1回分担している。

第4ブロック活動記録（令和5年4月1日から令和5年9月30日まで）

月日	会場	会議名・事業名	内容
4月11日	細田グリーンバンク		花壇月例作業 サマータイム（9：30～
27日	高砂地区センター	ブロック会議	令和5年度前期活動計画 等
5月9日	細田グリーンバンク	チューリップ球根の 掘り上げ	無二保育園児と交流
5月13日	細田グリーンバンク	樹木フェア	区行事協力
16日	細田グリーンバンク	月例作業	花壇植え替え
21日	鎌倉公園	緑のカーテン講習会 応援	2名参加
27日	新小岩地区センター	緑のカーテン講習会	
6日	細田グリーンバンク	月例作業	花壇手入れ
11日	テクノプラザ	環境・緑化フェア	緑化推進協力員会ブース・苗 木配布 従事
15日	新小岩間栗公園	花壇手入れ	夏・秋花壇植替え
18日	新小岩間栗公園	花壇手入れ	夏・秋花壇植替え
25日	新小岩間栗公園	花壇手入れ	
7月9日	新小岩間栗公園	花壇手入れ	
11日	細田グリーンバンク	月例作業	花壇手入れ
22日	新小岩間栗公園	花壇手入れ	
31日	新小岩間栗公園	花壇手入れ	
8月5日	新小岩間栗公園	花壇手入れ	
8日	細田グリーンバンク	月例作業	花壇手入れ
24日	新小岩間栗公園	花壇手入れ	
9月2日	新小岩間栗公園	花壇手入れ	
4日	新小岩地区センター	ブロック会議	令和5年度後期活動計画 等
12日	細田グリーンバンク	月例作業	花壇手入れ

# 葛飾区緑化推進協力員だより 48号に寄せる

第1ブロック

佐々木 定治

## 緑を育てることは人を育てることなり！



4月25日 畑の草ぬきをします水元3丁目



5月18日 ピーマンの苗植え 水元3丁目



24日 畑でお話会 ↑

8月24日 案山子 水元3丁目↓



20日 田んぼの世話



今年も身近で緑を育てることに力を入れてみました。自分の家の庭や保育園での「緑の育成」です。畑や田んぼの除草をして土を耕し、肥料を散布して心を込めて種まきや、苗を植え込みます。一日や二日で、育つのではなく、風雨にさらされながら、そして、今年のような猛暑のなかでこそ丹精を込めて、育てることをわすれてはなりません。

それは人を育てることと同じです。こんなことをお話ししながら未来を築く子ども達に、緑を育てることの大切さを「緑の命と人の命」の神髄に触れるべくゆっくりと作業を進めました。

# 緑は食と共に暮らしの中に



7月22日 トウモロコシ とキュウリ 水元2丁目白宅



8月14日 栗 水元3丁目



9月8日 コキア 水元2丁目 白宅

緑は樹木や草花だけではありません。畑の緑も暮らしの中の重要な緑です。俗に家庭菜園等といわれている作業も「緑を育てる」楽しみの一つです。

今年は種から「トウモロコシとキュウリ」を育て収穫し食卓に乗せることができました。また近所の知り合いからいただいた「コキア・トマト・赤唐辛子・ピーマン」の苗を植えその生育を楽しみました。コキアは、別名「ホーキグサ」とも言われ、私の田舎では、その実をしごき、キャビア風にして食します。そして軸を乾燥させて、小ボーキにし掃除に使っていました。秋を迎えると、コキアは赤く燃え立つような美しい秋の色に変身するのも、季節の変化を認識することがこの植物でもできる醍醐味です。

それにしてもこの夏の、水遣りは一日たりとも欠かすことができませんでした。忘れると葉焼けを起こし緑の命が絶えてしまいます。家庭菜園で起こす葉焼けは、緑への愛情不足に他なりません。

「栗の木」はつよいのでしょうか。雨も降らないのに大きな実をつけています。しかしそのイガの中に実りの証が本当にできているのでしょうか？心配です。

緑を暮らしの中に取り入れる楽しみとして「食べられる緑」を育てることも暮らしに彩を添えることに繋がります。緑化推進協力員として、この夏は暑さゆえ遠出は極力避けて、自分の身の周りの近場で緑を育て、日々の暮らしの中で、それを楽しみのポイントにしてみました。

## 水元公園の花いろいろ

1ブロック 引地 詔子

水元公園旧水産試験場跡地にハスの花が植えられています。6月～7月にかけてピンクと白い花が咲き始めます。白花は初めて見ました。グリーンプラザの近くでも池や川があり見る事が出来ます。今はハスの実が出来始めています。オニバスも大きな葉で花は小さく、ムラサキの花で今年は良く咲いています。

グリーンプラザの回りに咲いている花でノーゼンカズラ、ツルウメモドキ、ヤブラン、ボタンクサギ、ヤブカンゾウ、オカトラノオ、ヒマワリ、コキア、サルスベリがあります。

秋の七草でオミナエシ、この花に来る小さなハチでオオセイボウ=大青蜂が人気者で写真を撮りに来る方が大勢います。

今年フジバカマが1本も残らず消えてしまいました。どうしてだかわかりません。舟花壇に秋の七草が揃って植えられていたのに残念です。

ハギ、ススキ、キキョウ、カワラナデシコ、クズ、オミナエシ、フジバカマですね。9月中になるとヒガンバナが咲き、きれいです。



## ヤッコソウ

2ブロック 五十嵐 美鈴

今、NHKの連続テレビ小説で植物学者・牧野富太郎博士をモデルに描かれた作品「らんまん」が放送されています。御覧になっている方が多いと思います。私も最初は毎回楽しみに見ていましたが、今年の猛暑でテレビよりラジオを聞くようになっていました。そんな時、山村御流の華道の先生から、「NHKの朝ドラ「らんまん」でヤッコソウという珍しい植物のことをやっていたので、お昼の再放送を見ると勉強になりますよ！」とお知らせをいただきました。

私はヤッコソウのことを知りませんでしたので、図書館で調べてみたのですが、残念なことに資料が少なく、見たいと思った花の写真がありませんでした。

ヤッコソウについて詳しいことを御存知の方がいらっしゃいましたら、教えていただければ幸いです。



### ヤッコソウ

学名 *Mitrastemona*

原産地 日本、中南米

シイノキの根に寄生する葉緑素をもたない寄生植物。シイの根が地表近くに出た時にヤッコソウの種がくっつき寄生根を出して宿主に侵入する。ヤッコソウは花

が咲くまで4年かかる。秋の終わり頃に花を咲かせる筒状になったのは花。両性花でオスメスの時期があり、雄期にはおしべが帽子になり、柱頭をおおっている。花粉を出し終わると帽子がすっぽり取れて柱頭があらわれ、雌期になる。ヤッコソウは花を咲かせている姿が、やっこさんと形が似ていることから、その名がつけられた。やっこさんの袖の部分に当たるのが、退化した鱗状葉。この脇から蜜を出し、メジロが吸いに来て花粉を運ぶ。牧野富太郎博士が新種として命名。日本では徐々に数を減らし、自生地は天然記念物に指定されている。

<参考文献>

「おどろきの植物不可思議プランツ図鑑」

著者 木谷美咲 絵 横山拓彦

発行所 株式会社誠文堂新光社

2014年9月13日発行



## 初夏のハーブ

### 2ブロック 磯貝 五十鈴

東京都公園協会のハーブ講習会を受講してまいりましたので、来年の初夏、ハーブの手入れができるよう、ご説明します。

ラベンダー、ローズマリー、タイム、セージなどは、株元や枝の伸びている回りを、スッキリ、草とりしておく事が大切です。草が伸びている事により風通しが悪く、蒸れて枯れてしまう為です。又、枝が混みすぎている部分は、間引いておく事です。間引いて切ったハーブは自然乾燥させ、乾燥剤を入れた缶などで保存して、利用します。

レモングラス、レモンバーベナ、レモンバーム、チャイブ、ミント、フェンネル、ディル、バジル、ルッコラは、水分や蒸れにあまり気をつけなくても、よく成長しますが、虫が多くなり食べられてしまう事があります。沢山、収穫できますから、まめにカットして次々に伸びた枝を収穫しましょう。草取りは必要です。肥料をあげると、より収穫量が増します。

最後に美味しいハーブティーの作り方を説明します。

- ・リフレッシュ・ティー（気分が冴え、スッキリ爽やかに過ごしたい日に効果的です。）

材料：レモングラス、レモンバーベナ、ペパーミントを、だしパック袋に入れ、水から煮出し沸騰したら、



火を止めます。

- ・リラックス・ティー（気分がイライラした時、ぐっすり眠りたい日、又、足などが冷え症の人に最適。精神安定にも利用する方が多いです。）

材料：ジャーマン・カモミールをだしパックの袋に入れて、水から煮出し、同様に。

ハーブティーの材料は、好みでいろいろ試して量なども加減して下さい。だしパックにハーブを入れて、よく手でもんであげると香りが立ちます。ハーブは虫よけにもなり、お茶や料理でも使えます。ぜひ、いろいろ楽しんで下さい。

	薬効	風邪	消化	リラックス	安眠	頭痛	痛み	胃腸	防虫	老化防止	肉体疲労	精神疲労	利尿	食欲	肝機能	腎機能
ハーブの種類	使い方	ティー	ティー	ティー	入浴	入浴	入浴	ティー	ポプリ	ティー	入浴	入浴	ティーと料理			
オレガノ			○													
カモミール		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○		○		
コリアンダー		○	○					○						○		○
サボリー			○					○								
セージ			○	○		○	○	○			○	○		○		
タイム		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○		
チャイブ			○											○	○	
チャービル			○													
ナスタチウム		○	○						○							
バジル			○		○	○	○					○				
フェンネル		○	○		○		○		○	○				○		
ボリジ		○					○	○				○	○		○	○
マジョラム		○	○	○	○	○	○							○		
マロウ		○			○		○									
ミント		○	○	○	○	○		○	○		○	○		○		
ラベンダー		○	○	○	○	○	○		○		○					
レモングラス			○											○		
レモンバーム		○	○	○	○	○	○		○	○	○			○		
ローズゼラニウム												○				
ローズマリー		○	○	○		○	○		○	○	○	○			○	○

「特選 ハーブ45種」南雲今日子 著  
 主なハーブの効果 より

## 「地球の今は？」

### 2ブロック 近藤 文子

「水やりの音」、「風鈴の音」、「シャッターを上げる音」、「ドアをカチャッと開ける音」、「回覧版を置く位置」、「公園で遊ぶ子供の声」。驚くなかれ寺の池や公園の池に住む「ウシガエルの鳴き声」がうるさいと苦情が飛ぶ。

100 対 1 の 1 の文句や苦情にそっと身をひそめ、99 でもなければ 1 でもない。

戦後 70 数年、戦争と終結の原爆を味わった中で、精神文化は今だ未発達のままである。

「かかわらない・言わない・見ない・聞かない」が数十億年の地球生命を、わずか 100 年足らずで崩壊してしまった人間社会。これ程までに精神文化の墮落してしまったことは、今だかつてなかったことでしょう。

毎回「緑化推進協力員だより」の原稿を書いているが、今回程、ペンが進まないことはない。何を書けば良いのか迷いに迷ってしまった。

子供の頃から思うと「10°C」近い真夏の温度の上昇。集中豪雨、自然災害、戦争等々と今だ収まらない地球変動。まさに破滅への秒読みが始まっているのに、私はいったい何を書いたら良いのか、途方に暮れてしまった。考えながらペンを走らせましょう。

しかし、この極暑の中、雑草（昭和天皇様、牧野様、名前は有りますね）は強い。極暑でもどんどんと顔を出してくる。

第2ブロックが引き継いだ曳舟川親水公園を「曳舟花筏の会」と改め活動を開始。まずは雑草との戦い。せめて除草部分を少なくしようと円周にブルーシートを敷きつめ、舘岡さんにも手伝っていただき花苗植え。ビンセント、コリウス、ペチュニア等を植えました。

本音を言うと「引き受けなければ良かった」と思うくらいの雑草取りと水やりの戦い。今年の極暑も関連しているが大変でした。



しかし凄い！連絡網で「朝5時集合。涼しいうちでの除草と水やりに無理を

しないで、参加できる方のみ」と流したら、さすが第2ブロック協力員さん。

1日目 松坂さん、星合さん、清水さん、鈴木さん、荒井さん、野口さん、近藤と合計7名。2日目 松坂さん、鈴木さん、荒井さん、近藤と合計4名で完了。二カ所の花壇が清々しくなり、ベンチでお茶会の楽しい事。

私も時間の許す限り早朝4時からの水やりは楽しいもので、松坂さん、荒井さん、鈴木さんも交代で来てくださり、心の通い合う第2ブロックのスクラムを感じています。

すべての精神文化の偏りの中で、私たちの精鋭は「心使い」の素晴らしさを持った会員です。

手足は勿論の事、「心」で花を育て、緑を慈しんでいる皆様です。

花壇コンクールで「殿堂入り」となった「亀有花風船の会」も当番日（土・日）以外の水やりを、佐藤民児協会長さんを筆頭に 5 人の男性が引き受けてくださり、極暑の花壇を守ってくださっています。本当にありがとうございます。

沢山の苦情や批判。ある時には、駅前の多勢の通行人の前で「朝早くから水やりなどしていいかこうするな」と罵倒されたり、ある朝には「いつも、この花を見てから会社に行くのですよ。ありがとう」とお礼を言われたり。一人一人の心模様をじっと受けとめてくれる花々。どんな忍耐強い、優しい色に心を染めてくれるのでしょうか。

人間の勝手な行動により、取り返しのつかない危機に達している地球。手立てはあるかといえば、「NO!」。まちがいなく次世代は、更に極暑、極寒、あらゆる地球の末期癌の症状に遭遇する事でしょう。

「気温が 1 度上昇する毎に、経済効果が波及する」と放送されました。こんな日本なのです。

また、街路樹に除草剤を何度も撒いて枯らすなど、言語道断。どこか狂ってしまった「日本魂」いえ「大和騙し師」。

「会社の前だけでも、毎朝清掃、水やりをしましょう」、そうであったら「ビッグ」な社長さんです。お金で買えない物がある事を、今の地球の病が教えてくれています。

私達、緑化推進協力員が、ほんの小さな活動の中で、草花・樹木等自然から学ぶことは多大です。そのお礼として、精一杯の活動をしている各ブロックの皆様、本

当にありがとうございます。

私達は今、何をすべきか、地球の痛みに効く薬はありませんが、思い切った手当が必要です。

戦後、地球を傷付けてきた愚かさを、それぞれが自覚し、急いで行動しましょう。もう時間がないのです。

亀有から四つ木までの「曳舟フラワーロード」。第2ブロックだけでなく、緑化推進協力員の大きなプロジェクトとして、出発進行しましょう。

「だれが始めた」のではなく、「だれかが始めなければならない」のです。その「だれかが・・・」が私達です。



## ど根生のタチアオイに拍手

2ブロック 鈴木 伸

アスファルトの隙間に種がこぼれ、緑の葉が出て来ました。どんどん成長し4本に枝分かれして伸びて来たので、深めのプランターに支柱を立てて、花茎と支柱を細く切った布を8の字に各に結んで固定してみました。

下から上へと美しいタチアオイの花が咲き楽しみでした。道ゆく方も足を止めて下さり「きれいですね」「素敵ですね」と褒めて下さりうれしくなりました。

茎が1m30cm位迄伸び、こんな狭い所から根をつけここまで生育してくれる事に拍手をして応援しました。私はタチアオイから学ぶ事が多かったです。土の中の養分を貰って生育している姿に感動しました。

花が終わった後にしばらくして若葉が出て、又来年も花を咲かせてくれる準備に入っている様な気がして、楽しみが増えました。暑さ寒さに負けず頑張ってくださいね。タチアオイさんありがとうございますの気持ちでいっぱいです。



## かってにいちょうの丘!!

2ブロック 半田 建二

扇形の葉をしている落葉高木の銀杏は、全国で街路樹として良く使われています。黄色く色付く紅葉は見事で、街路樹は秋の観光スポットとしても人気があります。

銀杏は古代植物の生き残りと言われ、日本と中国の一部だけに現存している木で、公害や火にも強く、大正 12 年に発生した関東大震災では一面焼け野原となった東京で奇跡的に生き残ったとして、今も大手濠緑地で大切に育てられる銀杏があります。



イチヨウには雌株と雄株があります。イチヨウの種子である『ぎんなん』、実は雌株で、花のみが雄株です。イチヨウは裸子植物なので、雌株の種になる胚珠が裸状態で花の中に在ります。花は4月に咲き、雄株から花粉が飛散します。例えば1km離れていても雌花に届けば、雌株の花にある胚珠の花粉室に雄花の花粉が蓄えられます。すぐに受精は起こらず、そのまま胚珠の花粉も4か月位で成長します。9月～10月頃数個の精子が放出され、花粉室から造卵器に入り、ここで銀杏の受精が完

成します。11月頃に種子に熟成し、受精していなくとも銀杏の実は大し食用となります。雌株1本で銀杏の実が沢山成るには、花粉が無くとも胚珠が大する性質（単為結果性）のためです。

## みやこの木

東京の木選定委員会で決定した三種（イチヨウ 49%、ケヤキ 32%、ソメイヨシノ 19%）で委員の大多数はケヤキに賛成でありましたが、都民投票の通り、昭和41年11月14日イチヨウに決定しました。



## みやこのシンボルマーク

東京都のシンボルマークはその形状が都の木であるイチヨウの葉を連想させる事から『イチヨウマーク』と通称される事が多いが、東京都では『イチヨウではありません』。と公式にイチヨウの葉をデザインの由来とする説を否定している。T O K Y Oの頭文字であるアルファベットの【T】を図案化したもので、躍動、繁栄、潤い、安らぎを表現している。1989年9月30日に制定されました。

## 花盗人

### 3ブロック 下井 守

前々回の協力員だよりに、“花壇の管理をしていて、水やりと雑草刈りは頭の痛い問題である。”と書いたが、もう一つ頭の痛い問題があった。花盗人である。よく花盗人は罪を問われないなどというが、これは狂言の演目のひとつ『花盗人』に由来するらしい。

知人を喜ばせようと桜の大枝を折った出家人がちょうど花見にきていた桜の持ち主にみつかり、木に縛られ懲らしめをうけるが、古来の花盗人に関する和歌をやりとりして罪を許され、さらに酒を振る舞われるという愉快的狂言である。

渋谷公園で年2回、花苗の植え替えをしているが、毎回数株は必ず盗まれていた。対称性などを考えて植え付けをしたのに、その対称性が失われ、悲しい思いをしていた。それに対処するため、対称性よりはブロック状に植え付けて、盗まれてもなんとかカバーできるようにしたりもしていた。

ところが、昨年（令和4年）11月の時は、植え付け直後から盗掘が続き、10回に渡り50株以上が引き抜かれて持ち去られたり、抜いた場所に放置されたりしたということが起こり、悲惨な状態になってしまった。盗人の好みがあるらしく、オレンジ色のパンジーはほとんどすべてが抜き去られ、そのブロックは花が一つもなくなるという状況にまでなってしまった。

一人でそんなに盗んでも相当大きな花壇がなければならぬから、誰かが盗んだ

のを見て自分も少しくらいならいいだろうと複数の人が盗んだのだろう、などとも話していた。渋谷公園の花壇には防犯カメラも設置されていないので、警察に届けなくても仕方ないだろうと諦めていた。

今年の6月の植え付けの際には少しくらいなら盗まれても、何とかカバーできるようにと、同じ花苗の一部を別の花壇に植えて、盗難に備えた。

ところが、ところが、今回は一株も盗まれず、無事にすべての株が順調に成長した。素直に喜ばばそれで済むのだろうが、今度は逆に、どうして盗まれなかったのかと考えざるをえなくなった。

まず、複数人間が独立に関わっていたとすると、多数の株が一気に盗まれなくなるということはちょっと考えられないので、昨年大量に持ち去ったのは唯一人の仕業であり、相当広い花壇の持ち主なのだろうということが考えられた。

そうすると、なぜ、今回は全く取られなかったのかという問題になる。いくつか考えた結果を以下に示す。

1. 花盗人の好みに合わない花ばかりであった。
2. あまり高価な花株がなかったので、触手を伸ばす気にならなかった。
3. 協力員だよりの第3ブロック活動記録を読んで大いに反省をした。(笑)
4. 家族にそんなことをしてはいけませんとたしなめられた。
5. 年を取って、動けなくなり渋谷公園までくることができなくなった。
6. 施設にはいつてしまった。
7. お隠れになった。合掌。



## 感謝の花園

### 3ブロック まあ~ちゃん

四季の変化は、暦の上だけでなく、優しい花壇からの声でわかります。

猛暑を体感した貴女、災天下で水分不足はワガママな私以上に厳しいものでしたね。

近隣でお花を愛でることが習慣になりました。小さな花壇でも道端にひっそり咲く姿にも感動を覚えるようになりました。

緑や花や木々は、正直者でございます。こんな私にでも美しい笑顔で接してくれます。悲しい時も、つらい時も貴女の生き様に元気と勇気をいただきます。

近くの駅頭にプランターで季節の花園が有ります。再開発で移動してしまうかも知れませんが。朝に夕にお声がけとご挨拶をしてくれる笑顔を決して忘れません。

街に花壇があるのは文化だと思います。ご近所、町会のお仲間が交代で水遣りやお手入れをしているのを見ると、「ありがとう」とお声がけ致します。

季節の移りと時候とに忠実に描写してくれますね。

夏の「桃色吐息」さんの垂れ下がる姿は妖艶でございました。

雨に濡れてしょんぼりぐったりした貴女に「がんばってね！」と朝お声がけすると、夕刻には、パッと笑顔で迎えてくれますね。

植物の生命は、私の活力でもあります。自分を投影している姿に勇気と明日の元気をもらいます。夕焼けに映える姿は神々しくもあります。街が変わっていく時代

に生き続けるであろう生命と躍動感は、心の支えでございます。優しい花々に囲まれている人の営みに感謝の日々でございます。





## 編集後記

今年の夏は「沸騰した夏」と言われる程の地球異変の夏でした。そんな厳しい暑さの中でも、ほんのわずかな家庭菜園スペースにも「雑草」がはびこりました。数日後に、私が踏んでしまった草をよく見ると、千切れてなくなるのではなく、踏まれた分しっかりと土に根を張り、草そのものが逞しく強くなっているように見えました。

緑を育てる時、私は必要のあるものとないものを選別除去してしまいがちですが、この経験したことのない空前の暑さの夏なのに、粘り強く生き抜こうとする雑草の逞しい命に、感動を覚えてしまいました。

緑を育てることを通して、これまでに感じたことのない自分発見をすることがあるとすれば、緑が私の人生を育ててくれているのだと雑草から学び、感慨深く感謝しています。

1ブロック 佐々木 定治

.....\*.\*.\*.\*.....

京成お花茶屋駅北口から2分のところにお花茶屋公園があります。コロナ禍で中止になっていた「第60回お花茶屋ふるさとまつり」が4年振りに8月1日、2日、3日開催されました。私は20代の頃から花束贈呈、かき氷、放送にかかわっていたことで、お手伝いすることに。

白内障の手術後、猛暑の不安の中よく倒れもせず頑張れたと思います。それは関係者の情熱が素晴らしかったです。そして改めて、公園の緑の有難さを感じました。

今、グリーンセラピーが注目されていますが、是非皆さんも公園に行って、心も体も元気になって下さい！

2ブロック 五十嵐 美鈴

.....\*.\*.\*.\*.....

暑い暑い夏が過ぎて、今年は鉢物の植物が弱ってダメかなと心配しながら、手入れしていました。秋に入り、なかなか暑さが収まらず、ガッカリしていましたが、いつの間にか枝が伸びて、花は咲き、実もなり、毎日楽しみを作ってくれる植物に感謝いっぱいです。

3ブロック 江良 ヒデ子

.....\*.\*.\*.\*.....

コロナも落ち着き、やっと普通の生活に戻れるかと思いきや、一旦変わってしまった生活というものは、もとに戻らないという事をまざまざと見せつけられるような昨今です。

しかし、葛飾区緑化推進協力員の皆様におかれましては、時勢の潮流の中でも不断の努力を続けられ、街のなかには暗い雰囲気晴らすように美しい草花が溢れています。

変わってしまうものと変わらないものがありますが、変わらない草花の美しさ、それを美しいと思ってくれる区民のみなさんの気持ち、それらを協力員のみなさんとともにこれからも守っていけたら良いなと、協力員の活動をしながら思います。

4ブロック 直井 勝